

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	ボランティア演習				
担当者氏名	井上 敏孝				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

本科目はボランティア活動の定義や歴史、役割について概括するとともに、実際の活動を通して、ボランティア活動や社会貢献の意義について実感的に理解を深める授業である。そのために社会における多様な分野のボランティア活動について実践的に学ぶとともに、学校や保育の現場を巡る家庭や地域の実態や課題についても把握する機会とする。

《テキスト》

なし。適宜レジュメ・資料を配布する。

《参考図書》

参考文献等はその都度紹介する。

《授業の到達目標》

ボランティア活動を通して、主体的に社会参画に係る実践力を磨くとともに、豊かな人間性や社会性の涵養を目指す。そして活動までの準備、実践、振り返りを通して、ボランティアを進める上での基本的な知識やスキルを獲得する。

《授業時間外学習》

学外・授業時間外でのボランティア活動を必須とする。授業期間中に、ボランティア先の選定・連絡を受講者自らで行うとともに、所定の時間のボランティア活動を終了すること。

《成績評価の方法》

授業への参加度・貢献度（20%）、発表内容（30%）、授業終了時のレポート（50%）を加えて総合的に評価する。

《備考（教員経験の有無）》

随時発問や活動を加えつつ授業を進めていくので、積極的な姿勢での参加が望ましい。この教科は中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	本授業の概要と授業の進め方、評価方法等についてガイダンスを行うとともに、「ボランティア」の定義や役割について理解する。
2	「ボランティア」の語源や意義	「ボランティア」という言葉の語源や生まれた歴史的背景について概括する。
3	事例研究①	実際に行われているボランティア活動の事例について取り上げ検討する。
4	事例研究②	これまでに行ったことのあるボランティア活動について発表し討議する。
5	ボランティアのためのスキルトレーニング	学外において社会貢献活動を実施する上で、必要な知識やスキルについて身に付ける。
6	ボランティア活動先の選定・事前準備	希望のボランティア先を選び、連絡・調整を行うとともに、実践に向けた準備を行う。
7	ボランティア活動の実践①	ボランティア活動を体験する。①
8	ボランティア活動の実践②	ボランティア活動を体験する。②
9	ボランティア活動の実践③	ボランティア活動を体験する。③
10	ボランティア活動の実践④	ボランティア活動を体験する。④
11	ボランティア活動の実践⑤	ボランティア活動を体験する。⑤
12	ボランティア活動の実践⑥	ボランティア活動を体験する。⑥
13	活動の振り返りと報告会①	各自が体験したボランティア活動を振り返るとともに、報告会において体験内容を発表することで、体験の成果や課題について他の学生と共有する。①
14	活動の振り返りと報告会②	各自が体験したボランティア活動を振り返るとともに、報告会において体験内容を発表することで、体験の成果や課題について他の学生と共有する。②
15	まとめ	本授業で学んだことを総括するとともに、レポート課題を発表する。